リスニングそっくり模試

基礎学力 【 国語 】

試験にあたって

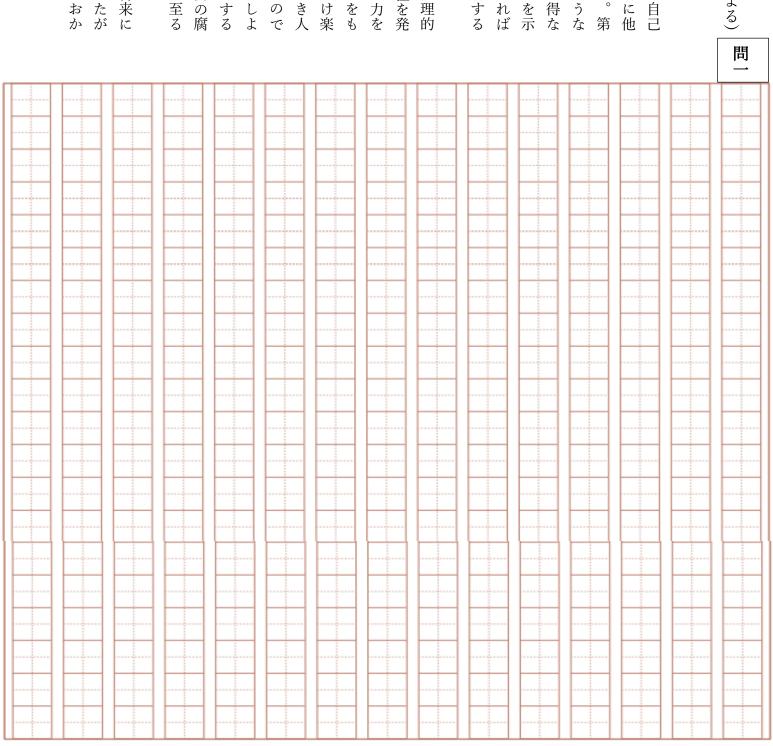
- 1 開始の合図があるまで問題用紙・解答用紙にふれないでください。
- 2 問題と解答用紙は同じ紙に印刷されています。開始の合図があったら, 最初に問題を確認してください。
- 3 受験番号と氏名を記入してから始めてください。
- 4 問題についての質問は受け付けません。印刷のはっきりしないところや用事がある時は声を出さずに手をあげてください。
- 5 文字は正確にていねいに書いてください。
- 6 今回は問題冊子ごと回収します。
- 7 筆記用具の貸し借りはしないでください。
- 8 試験時間は二十分です。終了五分前になったら知らせます。
- 9 答案を書き終わっても座席から離れないでください。

を読んで、後の問いに答えなさい。

らば、 二に自己の所有している権力を使用しようと思うな のであります。 ならないということ。 そうと願うなら、 ければならないということ。 人の個性も尊重しなければならないということ。 の個性の発展を仕とげようと思うならば、 今までの論旨をかいつまんで見ると、第一に自己 それに付随している義務というものを心得な それに伴う責任を重んじなければ つまりこの三ケ条に帰着する 第三に自己の金力を示 同時に他

のです。 敗をもたらす。ずいぶん危険な現象を呈するに至る す。 ういっぺん言い換えると、この三者を自由にうけ楽 展する価値もなし、権力を使う価値もなし、又金力を うとすると、ひとを妨害する、権力を用いようとする 格の支配を受ける必要が起こって来るというので 使う価値もないということになるのです。それをも しむためには、その三つのものの背後にあるべき人 これを外の言葉で言い直すと、いやしくも倫理的 濫用に流れる、金力を使おうとすれば、社会の腐 もし人格のないものがむやみに個性を発展しよ ある程度の修養を積んだ人でなければ、個性を発

なくてはいけないだろうと思います。 たはどうしても人格のある立派な人間になっておか おいて最も接近しやすいものであるから、 そうしてこの三つのものは、 あなたがたが将来に あなたが



問一 右の文章を【原稿用紙の書き方】に従って

【原稿用紙の書き方】

- ○題名、名前は書かずに一行目から書き始める。
- ○書き出しや、段落をかえた時は、一マスあける。
- 句点ととじかぎかっこ(。」)は同じ一マスに書く。○句読点、かぎかっこはそれぞれ一マスに書く。ただし、
- 後の字といっしょに同じマスに書く。○句読点が行の一番上に来てしまうときは、前の行の最

【 勝手気ままに使うこと 】 はまることばを抜き出して答えなさい。問二 右の文章の中から、次にあげる意味にあて

受験番号

名

氏

